

令和3年度施策評価表(令和2年度振り返り)

1 施策の概要 (第4次長期総合計画 (後期:平成28年度～令和2年度)に掲げる事項)	
施策名	05 地域力向上への支援
上位政策	02 にぎわいと活力あふれるまち
施策統括課	生活文化課 施策統括課長名 木村 大輔
関連課	生活文化課
関連する個別計画等	－
予定計画事業	市民相互の連帯感創出
施策に対する基本的な考え方 (第4次長期総合計画より)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の構成員である市民一人ひとりが地域における課題を認識し、地域、市民活動団体、企業、行政、あるいは個人といった、さまざまな主体と協働しながら解決していく、地域力の醸成に向けた支援を推進する。 ・自治会など、既存のコミュニティ組織の活性化と、新たなコミュニティ活動へ参加しようとする意識の醸成を図るため、各種事業の実施や関連情報の積極的な提供に努める。 ・群馬県高崎市榛名地域との間でこれまで培ってきた、市民の交流活動を支援する。
基本事業名 (1～3)	第4次長期総合計画における方向性
05-01 コミュニティ活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で身近な暮らしを支え、コミュニティの核ともなる自治会が安定して活動を継続していけるよう、インターネットなどのさまざまな媒体を通じて自治会の活動を広く周知し、参加への働きかけに積極的に取り組む。 ・市民や市民活動団体などが、一体感を醸成できるイベント等を通じて、地域のつながりづくりの推進に資する取り組みを行っていく。 ・多くの市民がコミュニティ活動及び交流の拠点として施設を有効活用できるよう、地域に応じた市民ニーズを把握し、稼働率を高める方策を検討する。 ・コミュニティ施設について、改修など老朽化対策を実施し、維持管理に努める。
05-02 地域間交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの高崎市榛名地域との良好な関係をもとに、今後はさらに両地域の特性を生かし、さまざまな分野での交流を広げることで、より有意義な事業を展開し、双方の地域活性化と地域間交流の支援に努める。

1 施策の概要（第4次長期総合計画（後期：平成28年度～令和2年度）に掲げる事項）	
基本事業名（4～5）	第4次長期総合計画における方向性

2 施策の成果指標と実績					
No	成果指標	単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度
1	自治会等の活動に参加したことがある市民の割合	%	39	未把握	36.3
2					
3					
4					
5					

3 施策内事務事業数と施策のコスト				
項目	単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度
本施策を構成する事務事業数	本	8	8	8
トータルコスト	千円	238,662	399,220	220,751
事業費（内書き）	千円	221,901	380,049	204,612
人件費（内書き）	千円	16,761	19,171	16,139

4 基本事業について (1~3)		
	現状と課題	令和4年度に向けた方向性
1	<ul style="list-style-type: none"> ・単身世帯の増加や世帯の核家族化、また個人意識の高まりによる自治会などの地域コミュニティに参加する世帯の減少が進むとともに、住民の高齢化により、活動を継続することが困難になってきている自治会も生じてきている。その一方で、ひとり暮らし高齢者や障害者などの要援護者の見守りや、災害時の助け合い、地域ぐるみの防犯対策の重要性が高まり、地域コミュニティの大切さが再認識されていることから、地域のつながりづくりを進めることが必要となっている。 ・コミュニティ施設は、さまざまな年代の市民が自主的にコミュニティ活動を展開するとともに、そこで開催する事業を通じて市民同士の交流、地域の連携の場として重要な役割を担っているが、施設によっては、建物や設備の老朽化が進行している。安全かつ効果的に施設を使用していくため、機能の維持、保全を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動の啓発を実施し、自治会への参加を積極的に働きかける。 ・市民や市民活動団体等と協力したイベントなどを実施し、地域のつながりづくりに資する取り組みを行う。 ・さまざまな世代がコミュニティ活動や交流の場として施設を有効活用できるよう、各種事業の実施などを通じて利用者満足度の向上に努める。 ・利用者が安心・安全して利用できるよう、老朽化対策を実施し、コミュニティ施設の適切な維持管理に努める。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・高崎市榛名地域とはこれまで、文化、スポーツ、教育等で培ってきた交流の実績をもとに、両地域の魅力を伝える事業を行っていくことで、今後さらに地域間の交流が活発化することが望まれる。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、榛名地域宿泊施設利用助成件数は減少している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・榛名地域宿泊施設利用補助対象施設の紹介をホームページ上で掲載し、利用の増加に結びつける取り組みを行うとともに、イベント事業のパンフレットの配置施設を増やす。 ・さらなる交流発展に向けて、各部課との調整及び高崎市榛名支所との連携を深めていく。
3		

4 基本事業について (4~5)

		現状と課題	令和4年度に向けた方向性
4			
5			

5 令和4年度に向けた施策方針

【第5次長期総合計画における施策名「地域力の向上」】

- ・コミュニティ活動の啓発を実施し、自治会への参加を積極的に働きかける。
- ・市民や市民活動団体等と協力したイベントなどを実施し、地域のつながりづくりに資する取り組みを行う。
- ・さまざまな世代がコミュニティ活動や交流の場として施設を有効活用できるよう、各種事業の実施などを通じて利用者満足度の向上に努める。
- ・多くの市民が活動や交流の拠点としているコミュニティ施設の老朽化が進んでいることから、東久留米市施設保全計画に基づき、適切に保全業務を実施していく。
- ・地域間交流については、榛名支所との連携を主としつつも高崎市関連部署との関係構築にも努め、交流進展を図るようにしていく。

6 令和4年度の施策の位置づけ
